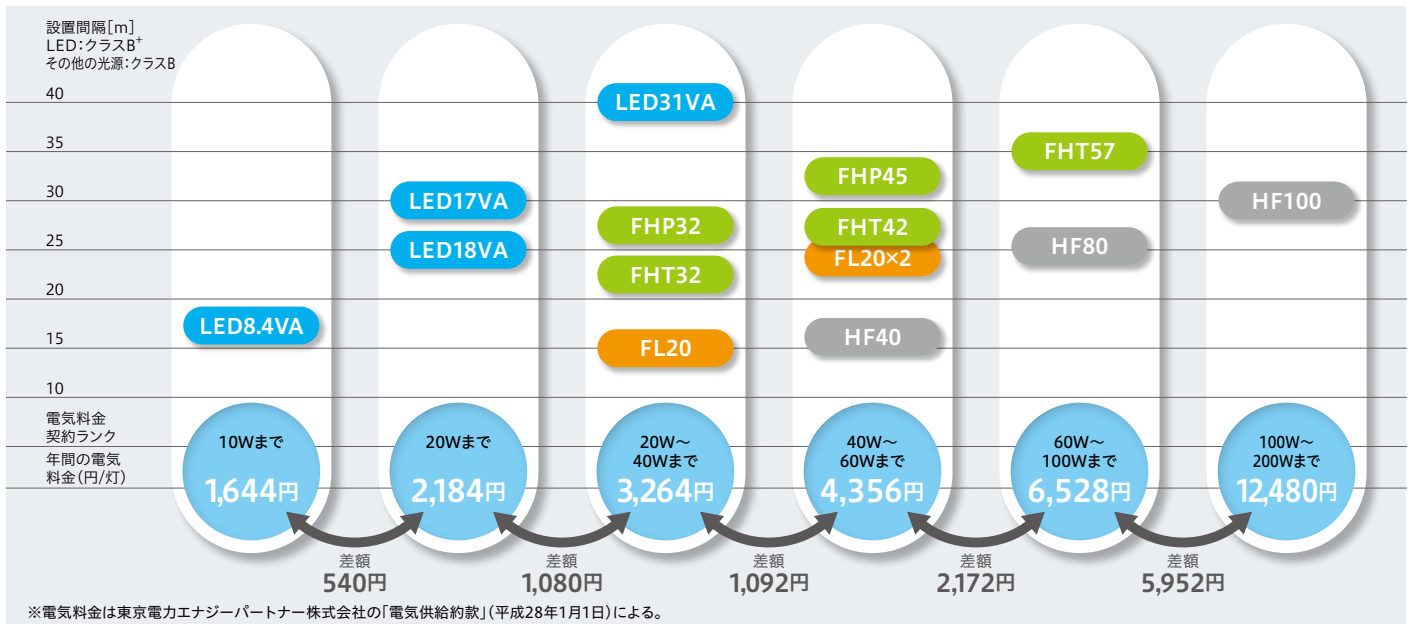


光源別 防犯灯の設置間隔と電気料金 (LEDはクラスB⁺・その他はクラスB)



防犯灯の照度基準について

防犯灯の設置により適切な明るさを確保しましょう。
犯罪が多発する暗がりや防犯灯で明るくし、歩行者が安心できる街をつくるのが大切です。

公益社団法人 日本防犯設備協会では安全・安心を守る為の照度基準(クラスA~クラスB)を推奨しています。防犯対策としては少なくともクラスBの明るさが求められます。

クラス	水平面照度 (平均値)※1	鉛直面照度 (最小値)※2	照明の効果
A	5lx	1lx	4m先の歩行者の概要(目、鼻、口の位置)が識別できる
B	3lx	0.5lx	4m先の歩行者の挙動・姿勢などがわかる

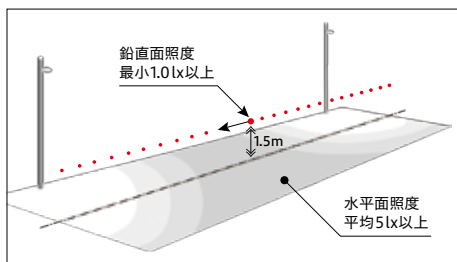
※1 路面の明るさ ※2 道路中心線上で路面からの高さが1.5mのところ

クラスB⁺ LED防犯灯の普及により、光の指向性が強いLED防犯灯を考慮した新しい基準が追加されました。

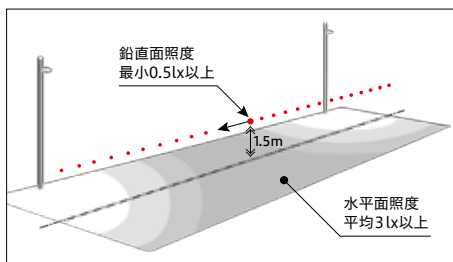
クラス	水平面照度 (平均値)※1	鉛直面照度 (最小値)※3	照明の効果
B ⁺	3lx	0.5lx	4m先の歩行者の挙動・姿勢などがわかる

※3 道路中心線上及び道路両端から0.5m内側において、路面からの高さが1.5mのところ

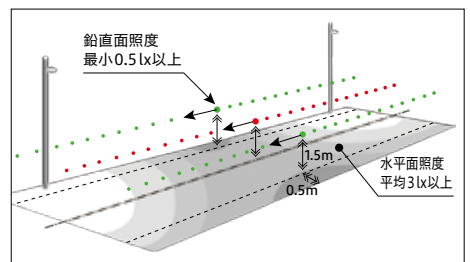
■ クラスAを満たした道路



■ クラスBを満たした道路



■ クラスB⁺を満たした道路



●クラスA、クラスB、クラスB⁺の基準値は公益社団法人 日本防犯設備協会 技術標準SES E 1901-4 防犯灯の照度基準(平成27年2月3日改正)によります。

防犯灯の照度基準ランク表示

LED防犯灯の従来光源(例:FL20W相当)などのような表現は、LED防犯灯を選択する上で従来光源の明るさと比較して直感的に理解できるので有効でした。そこで、LED防犯灯を従来型光源の防犯灯と比較する場合の目安として、各従来型光源の種類と表記に対応する呼び名「ランク」を設け、そのランク毎にクラスB⁺の基準を満たす設置間隔を右の表にしました。

【公益社団法人 日本防犯設備協会 技術標準SES-1901-4(平成27年2月3日改正)による】

※1 保守率0.63、路面反射0.1、防犯灯設置高さ4.5m、通路幅5mとした場合にクラスB⁺を満たす最長の設置間隔(端数は切り捨て/16.5m→16m)
※2 ランクMMIは、HF80(FHP32)相当より明るい、従来光源表記はHF80(FHP32)相当とする。
※3 ランクLLIは、HF100相当より明るい、従来光源表記はHF100相当とする。

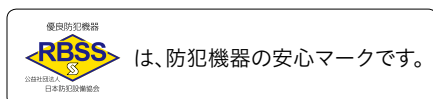
■ LED防犯灯の従来光源との対比表記・呼び名(記号)

LED防犯灯		従来光源	
クラスB ⁺ の設置間隔※1	呼び名(記号)ランク	種類	表記
11m以下	表記なし	—	表記なし
12~16m	SS	直管形蛍光ランプ20ワット	FL20相当
17~21m	S	高圧水銀ランプ40ワット	HF40相当
22~26m	M	高圧水銀ランプ80ワット (コンパクト形蛍光ランプ32ワット)	HF80(FHP32)相当
27~29m	MM※2		
30~36m	L	高圧水銀ランプ100ワット	HF100相当
37m以上	LL※3		

RBSS(優良防犯機器認定制度)について

RBSS(優良防犯機器認定制度)とは

公益社団法人 日本防犯設備協会が犯罪抑止力等の向上、特に防犯機器・防犯性能が犯罪抑止・犯罪発生後の対処・追跡に関する犯罪検挙等の用途に効果的に機能する、と認められる機器について、適合認定を与え、よりよい防犯機器の開発普及を促進し、さらには国民の皆様が防犯機器をよく知っていただくことを目的に実施している制度です。詳細は、公益社団法人 日本防犯設備協会ホームページ(<http://www.ssaj.or.jp/>)の「RBSS(優良防犯機器認定制度)」をご参照ください。



LED防犯灯に関する性能要求事項

RBSSにおけるLED防犯灯の要求性能は、共通機能として13項目があります。これらの項目は、一般社団法人 日本照明工業会発行の「ガイドA 137-3 高品質LED防犯灯の性能要求指針」を採用しています。

■ 性能項目

1 固有エネルギー消費効率	8 寿命
2 全光束	9 耐久性
3 光源色の区分	10 耐サージ性能
4 演色性	11 安全性
5 設置間隔性能	12 高調波
6 上方光束比	13 部品
7 自動点滅器	